

令和6年度 学校経営計画

川崎市立南野川小学校 西村勇一郎

I 学校経営の基本理念

本校は、全教職員がもつ英知と能力を結集して、校庭のくすの木が成長するように現代社会を主体的に生きる子どもたちの健やかな成長を保障し、保護者や地域の方々の信頼に応える学校経営を進めていく。また、これまで築いてきた歴史を尊重しつつも新たな時代に向けた本校の実態に合った教育活動の在り方を模索していく。教職員がゆとりをもって教育活動を進めていけるように、取り組み方や時間の捻出の仕方を工夫していく。過重労働にならないように配慮しつつも、授業の充実を目指す。

II 本校の教育目標

「たくましい子 のびる子 力を合わせる子 あかるい子」

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きようとする、心豊かな児童の育成を目指す。

⇒ 「心と体」をバランスよく育む教育活動の推進

「おはよう」(礼儀)

「ありがとう」(感謝)

「だいじょうぶ」(思いやり)



III 目指す学校像

「多様性を大切にする南野川小」

キーワード 《多様性》 《協調性》

合言葉「みんなちがって みんないい」

学校は組織体である。全教職員が一丸となって、保護者や地域とともに「チーム南野川」の精神を継承しながら、創立52年目を充実した年にしていけるようにする。これまでに築いてきた教育実践の成果を継承し、現在の教育課題を的確に捉え、将来の在り方を見据えながら、特色ある教育活動を展開し、常に前進し続ける学校を目指していく。そのために、次のような具体的な学校像を実現したいと考えている。

○温かな心と豊かなかかわりが広がる安心感・安定感のある学校

○みんなが明るく力いっぱい学び合う充実感・達成感のある学校

○地域に開かれ地域と歩み、地域の中で信頼感・存在感のある学校

IV 学校経営の基本的原則

学習指導要領の趣旨を受けつつ、『かわさき教育プラン』の確実な推進に向け、教育課程を創造していく。また、かわさき教職員育成指標を意識しながら、教職員各々が自分の成長を自覚できるようにす

る。市制100周年の各種の取組を通して、シチズンプライドを高め、さらに地域への愛着心も醸成していきたい。

1 教育目標達成に向けての基本方針

(1) 児童の学ぶ意欲を高め、協働的学習による質の高い授業づくり

- ・各教科等の基礎的・基本的な内容の確実な習得とその活用・探究の力を育成するために授業の質を高め、自ら課題を設定し、柔軟に考え、豊かに表現する問題解決的な学習と児童相互のかかわり合いを重視した学習を日常化する。
- ・個別最適な学びの実現に向け、児童一人一人を大切にした指導を心掛け、指導体制を工夫・改善し、教員間の指導の差を減らしていく。
- ・ゲストティーチャーとの協力指導を充実させるために、地域の教材化や外部人材の活用を積極的に推進し、体験的な活動の拡充を図っていく。
- ・児童による自己・相互評価、教師による診断的・形成的評価の充実に努める。

(2) 心が通い合う温もりと落ち着きのある環境づくり

- ・偏見や差別、いじめを決して許さず、児童のよさを積極的に見いだす指導を徹底し、児童の人権感覚を培う。
- ・高齢者や年少者、様々な立場の人との交流を通して、互いに理解を深め、共に生きていくことの大切さを理解できるようにする。
- ・環境・自然・動植物を大切にする心を育てるとともに、他者や自分の生命の尊さを理解できるようにする。
- ・温かな言葉と気持ちのよい挨拶が響き合う言語環境、安全・安心で児童の活躍する姿と季節感溢れる美しい校内環境の整備を推進する。
- ・ジェンダー教育の研修を充実させる。

(3) 児童の生命・安全・心と体の健康を第一に進める体制づくり

- ・児童の生命・安全・健康に関することは、全てに優先し、健康・安全教育の充実を図り、自分の健康・命は自分で守る態度や能力を養う。
- ・体育の時間の充実と日常の運動の奨励を通して、進んで心身を鍛え、体力を向上させるように支援する。(キラキラタイムの充実)→「かわさきキラキラチャレンジ」
- ・当番や係活動、委員会活動等を通して、進んで学級や学校全体のためになる仕事に取り組み、粘り強く最後までやり遂げる責任感を培う。
- ・交通安全への意識を高め、交通ルールを守ろうとする規範意識を醸成していく。

(4) 家庭・地域に理解され協力関係を深める中での信頼関係づくり

「地域と学び、地域に根差し、地域と共に成長する学校」

- ・長らく「道徳」の実践研究で培ってきた成果に加え、家庭、地域と連携した「道徳教育」や「人権尊重教育」「かわさき共生教育プラン」を推進することで、「多様性を尊重する南野川小」へ

の取組を強化し、心豊かな児童の育成を目指す。

- ・教育公務員としての自覚の下、サービスの遵守を徹底し、常に真摯な態度で職務を遂行する。
- ・学校教育に関する評価（自己評価、学校関係者評価、児童・保護者等によるアンケート）を生かし、保護者・地域のニーズに応える教育課程の編成と実施に努める。
- ・PTAOB会『南桜会』や『子ども見守りたい』を中心に、地域ボランティアの更なる組織化をはじめ、外部人材の計画的・効果的な活用を図り、教育活動を充実させるとともに、保護者・地域との日常的な協力・連携を深める。
- ・学校からの迅速かつ効果的・継続的な情報発信の充実に努める。
- ・児童や教職員が区・地域等の活動や行事へ積極的に参加したり、奉仕活動を推進したりすることを通して、自校や地域を愛する心を育て、相互の信頼関係を深める。

2 実践に向けた具体策

◆共通指導、共通実践の徹底と達成状況をこまめに確認

(1) 「生きる力」を育む授業の質の向上

体験的・問題解決的な学習を重視する中で、児童による主体的で協働的な学習活動を充実させ、創造的な問題解決能力やコミュニケーション能力の育成を図る。

〔Research（課題把握）→Plan（計画）→Do（実践）→Check（評価）→Action（改善）〕のサイクルを重視しながら授業力を向上させ、露呈した課題は決してそのままにせず、児童の学力を向上させられるように努めていく。

◆組織的な指導体制の確立—○学年担任制（合同授業、交換授業等の実施）の充実と専科教員との連携した指導

◆児童の実態に応じた教材開発の重視

◆教科の特色に応じた外部人材の計画的活用

◆基礎・基本の定着及び児童の興味・関心が喚起する校内学習環境の整備

◆GIGA端末を利活用した学習活動の充実 → ステップ3へ

◆主体的、対話的で深い学びをめざした学習活動の推進→校内研究の充実・体験活動の重視

◆読書活動の活性化（学校司書の配置）

(2) 学習環境整備の充実

登校指導・健康観察・授業・休み時間・給食・清掃まで、常に「子どもと共に」をモットーに、かわりはいつもカウンセリングマインド〔受容・共感・包容・肯定〕を大切にしていく。また、学校のきまり「南野川っ子のやくそく」の遵守と最後までしっかり見届ける生活指導を徹底し、教育相談の充実、けが0・不登校0・いじめ0に向けた組織的対応を推進する。また、清掃が行き届き、安全に配慮し、季節感が感じられる清潔でさわやかな校内外の環境整備を計画的に実施する。児童の作品が溢れる児童主体の環境づくりを推進していく。地域・保護者等の思いや要望に対し、「迅速・丁寧・誠実」に対応する。

◆「いじめ防止基本方針」の下、全学年で定期的にいじめに関するアンケートを実施、児童指導連絡会の開催、全校講話の計画的実施等を通し、いじめ0の組織的対応の充実

- ◆「挨拶と正しい言葉遣いの励行」、年間を通じた段階的取り組みを重視
- ◆GIGAスクール構想の実現とともに情報リテラシーについての児童への段階的指導の徹底、児童・保護者への啓発
- ◆巡回指導教員、専門員、スクールカウンセラー等との連携強化による特別支援教育の充実
- ◆教室を中心とするユニバーサルデザインへの配慮
- ◆規範意識を向上させ、大きなけが0を目指し、登下校時や休み時間における見守りの強化
- ◆再生整備工事の際の安全確保

(3) 様々な人とのかかわりを重視し、温かな心と豊かな人間関係を育み、学校・地域相互の教育力の向上

- ◆野川中学校区の3小学校と中学校の連携強化を目指す → 5年生自然教室合同実施等

(4) 信頼関係を築くきめ細やかな説明責任と外部評価の実施・活用及び児童・教職員による地域貢献の促進

- ◆自発的な報告・連絡・相談・確認「ほうれんそう」の徹底
- ◆学校説明会、学校報告会・入学説明会の実施
- ◆アレルギー対応委員会による食物アレルギーへの対応と保護者面談、説明
- ◆『地域教育会議』の工夫・改善、学校関係者評価の適切な実施と有効活用
- ◆保護者の要望や苦情に適切に対応していくため、学校評価アンケートの集約と活用
- ◆学校・学年便り（毎月）、学校ウェブサイトの定期的な更新と内容の充実
- ◆ミマモルメの活用
- ◆デジタルトランスフォーメーション（DX化）に向けた家庭への協力依頼と推進
- ◆学校要覧、内外の掲示版の充実と定期的な更新
- ◆自己評価の改善及び児童・保護者による学校の教育活動に関する評価の実施と回収率の向上
- ◆学校行事を推進するとともに、児童、全教員のPTA活動や地域の活動、行事への積極的参加の奨励
- ◆学校運営協議会（コミュニティースクール）の活性化

(5) 日々の授業力向上と若手教員の育成を目指す研修の充実

- ◆次世代を担う教職員の育成に向けた校内研修の充実とこれまでの研究成果と実績の継承
- ◆かわさきGIGAスクール構想実現に向けた教員の資質・能力向上と支援体制の充実
- ◆OJTの日常化・組織化のために、自己観察書を生かした個々の計画書の作成、計画的実施
- ◆校内ミニ研修会の実施と内容の充実
- ◆服務事故0、事務事故0を目指し、情報管理の徹底や人権感覚、接遇を磨く研修の充実
- ◆働き方改革・仕事の進め方改革を意識した校内体制や組織、分掌の在り方等の更なる検討
フレックスタイム制（時差勤務）の導入・メッセージ電話17：00～翌8：00まで設定
- ◆市政100周年に向けての活動の充実
- ◆かわさき教職員育成指標を生かして資質能力の育成を図っていく

凡事徹底・服務規律の遵守・「ほうれんそう」の徹底・ソナーで探知・働き方改革の更なる推進